



春日井ロータリークラブ

2021-22 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「ロータリアンとしての誇りを持ち、出でて奉仕を！」



会長：成瀬 浩康
 副会長：中川 健
 副会長：小川 茂徳
 幹事：大原 泰昭
 会報委員長：下田 育雄

事務局：春日井市鳥居松町 5-45
 TEL：0568-81-8498
 FAX：0568-82-0265
 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp
 HP：https://www.kasugai-rc.jp
 例会場：ホテルプラザ勝川



本日のプログラム

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| ・点鐘 | 司会 | 会場委員会 |
| ・ROTARY SONG | 会長 | 成瀬 浩康君 |
| ・今月の歌 | 「われらの生業」 | |
| ・委員会報告 | 「さくらさくら」 | |
| ・祝福 | | 長谷川久幸君 |
| ・卓話 | | 大原 泰昭君 |
| ・幹事報告 | 幹事 | 成瀬 浩康君 |
| ・点鐘 | 会長 | |
| 今月の歌 | | |

「さくらさくら」

さくら さくら

野山も里も 見わたす限り

かすみか雲か 朝日ににおう

さくら さくら 花ざかり

今月の祝福

会員誕生日

| | |
|------------|------------|
| 4日 梅田 英夫君 | 16日 日比 雄将君 |
| 18日 大西 信之君 | 20日 貴田 永克君 |
| 21日 大橋 省吾君 | 22日 藤川 誠二君 |

結婚記念日

| | |
|------------|------------|
| 2日 梅田 英夫君 | 3日 青山 博徳君 |
| 21日 加藤 茂君 | 24日 朽本 正樹君 |
| 29日 早川 八郎君 | 29日 岩村 幸正君 |

夫人誕生日

19日 岡本 博貴君・佳奈枝さん
 25日 北 健司君・志津江さん
 27日 青山 博徳君・倫子さん

アテンダンス表彰

2ヶ年 中澤 一君

母子の健康月間（4月）

2022年4月15日（金）2509回（4月第3例会）

先週の記録

会長挨拶 会長 成瀬 浩康君

前回の会報では本日は祝福の予定になっており、会長挨拶はない予定でしたがプログラムの変更があったようでその連絡が私には届いていなかったため、挨拶の原稿は用意しておりませんでしたことをお詫び申し上げます。

4月6日におととしの北会長年度で企画していました吉野の桜見学を総勢13名で見に行き参りました。朝7時集合でしたが、皆さん気合が入っていたのか10分ぐらい前には出発となりました。ここ3年思うような親睦活動が出来ていなかったため、久しぶりの小旅行は心が弾みました。改めて思ったことはロータリーの親睦活動という物は本当に大切だということです。例会のように厳粛な場とは違い、比較的ラフな気分で長時間共に同じ空間で過ごす親睦会では、日頃見ることが出来ないその人の一面が見えてきます。それにより心の壁を取り払い、また一歩親しくなれるのではないのでしょうか。そこにお酒でも入れればさらに距離が近くなれます。私は吉野の桜は初めてでした。満開に咲き誇った桜が本当に素晴らしかったです。見学の途中銭湯がありましたので休憩がてらお風呂につかりました。数人のメンバーと集合時間まで一緒に桜を見ながら、そこでもまた色々な話をしました。まさに裸と裸の付き合いでした。そのあとは伊賀に立ち寄り伊賀牛を堪能して帰路につきました。入会間もないメンバーも参加

母子の健康月間（4月）

青少年奉仕月間（5月）

| | | | | |
|------|-----------|----------|---------|----------------|
| 例会予定 | 4月22日（金） | 4月29日（金） | 5月6日（金） | 5月13日（金） |
| | 例会 12:30～ | | | 第11回理事会 11:15～ |
| | 卓話 青山 博徳君 | 休会 | 休会 | 例会 12:30～ |
| | | | | 自衛隊員表彰 |

まいます。何をやっても周囲と摩擦を起こしてしまう一本気な人が最後に選んだ職業が画家でした。

画家こそ我が天職この時27歳。この頃から弟テオからの仕送りと手紙のやり取りが始まります。18年間で650通に及ぶ兄弟の文通。その時々の様子や心情を書いています。従弟のところでは画家修業を続けますが、修行は、短い期間でほぼ独学によるものでした。

30歳になっても自立ができず昼間から村をうろついて絵を描いている放蕩息子に周囲の視線は冷たかったと思います。弟テオからの仕送りに頼るばかりで、この間も女性問題を重ねています。

1885年33歳初期の代表作「ジャガイモを食べる人々」を完成させます。この頃は、農夫、働く人、風景をととても暗く重い画風でした。父が他界し故郷を離れます。

1886年、パリにいた弟テオの所に転がり込みます。弟の紹介で印象派を知り、ゴッホ、ロートレック、スーラーといった画家たちと親交を結んでいき、南国で芸術家達による共同体づくり（芸術村）に夢を見るようになります。

オランダ時代の暗い色は、徐々に明るく鮮やかな色彩に変わっていきます。この頃、日本の浮世絵を知りゴッホも浮世絵を収集しました。ほとんどの印象派の画家は、浮世絵に触発され、自分の絵の中に浮世絵を描くほど影響されています。日本風を自分たちの芸術に取り入れようとするジャポニズム（日本趣味）です。

1888年35歳、パリでの生活に疲れ果て、南仏アルルに旅立ちます。ゴッホは、アルルに日本を重ねていたようです。この地に15ヶ月滞在し、300点を超える絵画を書いています。生涯でその色彩と奔放な表現に内容が濃かったことが分かります。アルルは「理想の国・日本」と妹に手紙に書いています。

芸術家の共同体を実現させようと「黄色い家」と呼ばれる下宿屋を借り、画家仲間と声を掛けますが、来てくれたのはゴッホたった一人でした。最も有名な「ひまわり」はこの地で描いています。しかしながらゴッホとも個性がぶつかり合い共同生活は長続きせず9週間足らずで、「耳きり事件」で幕を閉じます。ゴッホは自分の片方の耳を切り落と

したのです。理想と現実とのギャップに精神が引き裂かれたのかもしれませんが。その後、ゴッホはタヒチに向かい、傑作を残すところとなります。この事件により、他人を傷つける恐れのある危険人物とみなされるようになり、アルルから25キロ離れたサン・レミの療養院に自ら入ります。

療養で過ごした1年間、発作が数か月ごとに襲い、治まると絵筆を握ることを繰り返しました。色彩は強烈になり、筆致は渦を巻くようになります。この時代の代表作が、「星月夜」「糸杉」です。

この間に弟テオがヨハンナと結婚、翌年息子を授かりフィンセントと名づけています。ゴッホは甥の誕生祝に赴き、弟テオの息子に自分の名前「フィンセント」をプレゼントしました。

1890年37歳、テオのすすめで、絵画を愛好する精神科医ガシェ博士のいるパリ郊外のオヴェール・シュル・オワーズに移ります。最後の地で2ヶ月の間に70枚もの絵を描いています。何かに追い立てられているように思えます。生涯で唯一、1点だけ作品が売れているのもこの年です。この頃テオは仕事も健康状態も順調とは言えず、そのうえ、子どもも生まれ、兄への送金が生活を圧迫し夫婦の間にもあつれきが生じ、ゴッホはそのことに心を痛めながらも、ひたすら制作に打ち込みました。ゴッホの使う画材の量は尋常ではなく、描けば描くほど費用がかさんでいくこの悪循環を断ち切るために、猟銃自殺を図ります。弾は急所をそれ、2日間生き延びた末、パリから駆けつけたテオに看取られ亡くなります。

残されたテオは、苦しみから解放されるどころか、心の支えを失った悲しみに精神を病みわずか半年後に兄の後を追うようにして33歳で亡くなりました。テオの妻ヨハンナは、1歳の子を抱え、ゴッホが描いた膨大な絵を目の当たりにして、「この素晴らしい絵を世に紹介しなければならぬ」との使命にかけられました。管理と書簡の整理をし、美術関係者や国内外の客人に作品を紹介し、展覧会に作品を貸し出して作品を世に紹介し続けました。ヨハンナ亡き後は、息子のフィンセント・ウィリレムが事業を引き継ぎました。兄を敬愛した弟テオの家族の努力が実を結び、1962年オランダ政府の提唱によりゴッホ美術館が計画され1973年に美術館オープン

となり、今日のゴッホの名声を確立しました。

画家として活躍したわずか10年の間に2000点を超える作品を残した「炎の画家」ゴッホ。ゴッホの作品を一番多く所蔵しているのは、ヨハンナの手元に残った作品所蔵の「ゴッホ美術館」です。ちなみに1999年に美術館の新館を設計したのは、黒川紀章氏です。

2番目に多く所蔵しているのは、絵画収集家であった「クレラー＝ミュラー美術館」で、どちらもオランダにあります。

ゴッホ代表作の「ひまわり」は、全部で7点ありますが、そのうち1点は損保ジャパンが所有しています。1987年当時、53億円で落札しています。東京新宿にある損保ジャパンの美術館で見ることができます。ちなみに1990年ゴッホが描いた「ガッシュ医師の肖像」は125億円で落札されました。残すところ2日間ですが、4月10日まで名古屋市美術館で「クレラー＝ミュラー美術館のゴッホ展」開催中です。ご興味を持たれた方は、足を運んでみてはいかがでしょうか。

続いて自己紹介をさせていただきます。私は昭和35年12月3日生まれで現在61歳です。春日井市内で加藤家の長男として誕生しました。4年後に弟が誕生しましたが、弟は2歳のときに岐阜の後藤さんという方のところへ養子に出され、再会したのは私が22歳のときでした。弟は18歳になり春から東京の大学に進学が決まっていたこともあって、先方のお父様が連れてきました。私、父、祖父と弟は16年ぶりに会うのですが、私との会話で2つだけ記憶にあるのは、養子のことは中学生には知っていたこと、大学を卒業したら教師になるという目標があることです。高校教師の弟とは今では仲良く交流しています。

私が7歳のときに両親が離婚しました。私は父方の方に引き取られましたが、男一人では育てられないということで、叔母の家族に預けられました。私の父は5人きょうだいの上から2番目でただ一人の男でした。私は父のすぐ下の妹である叔母の家族と父が再婚するまでの約4年間一緒に暮らしたので、私にとっては今でも母のような存在です。その叔母は平成14年から平成16年までの2年間春日井

商工会議所婦人部、今の女性会の会長を務めたトワワ住宅の丹羽久枝といいますので、ご存じの方もみえるかもしれません。実の母とは54年間1度も会っていませんでしたが、今年会ってきました。

小学生時代のことはあまり覚えていませんが、トランペットに憧れて鼓笛隊に入り運動会等で皆の前でパレードをした時に気分が良かったのは覚えています。

中学からは剣道をやると決めていましたので迷わず剣道部に入り、自宅近くの修武館という道場がありましたのでそこにも週3回通いました。中学3年のときに出場した大会では春日井市では2位、東尾張では優勝、県大会では1回戦敗退という成績でした。

女優の紺野美沙子さんの夫が春日井市出身で私と剣道部時代の同級生です。彼はTBS入社後、独立して映画監督になり現在は氷見市の副市長です。

高校に進学しても剣道一筋で、授業中は寝ていたりさぼったりしても部活だけは必ずやりました。そんな私ですから、殆どの同級生たちが大学へ進学する中、迷うことなく就職の道を選びました。5人いた同級生たちは今でもたまに会っては飲んだりしています。そのうち3人は今でも現役で、全員7段を持っています。殆どの剣士は7段までで、8段は合格率1%の世界だそうです。

私が会社勤めをしていた昭和58年2月に祖父が入院したため、父から一週間休暇を取ってウスイ不動産を手伝うようにと連絡がありました。結局もとの会社に復帰することなく現在に至っています。ウスイという名は、父の姉がウスイ電気を経営している山中家へ嫁いだ関係で、ウスイ電気の不動産部、ウスイ不動産となったということです。

祖父と父は一緒に仕事はしていましたが、元々あまり仲の良い方ではありませんでした。祖父は私を養子にしようと考えていました。昭和58年4月23日の土曜日に春日井市役所で養子になる届けをしたのですが、翌日24日に祖父が亡くなりましたので驚きました。養子になったことを知らなかった父はもっと驚いた様子でした。

私たち夫婦には35歳の娘と32歳の息子がいます。娘は結婚して川崎に住んでいます。息子も結婚して春日井に住んでいます。そういう訳ですから家では

夫婦二人きりです。

私にはスポーツ観戦という趣味がありまして、1998年のサッカーワールドカップを当時小学3年生だった息子と観に行きました。2002年には友人と大阪まで日本代表の試合を、その年に同じ友人とロンドンまでベッカムの試合を観に行きましたが、現在では観戦回数も減っています。

JCには昭和60年に入会しました。入会同期には現在春日井商工会議所副会頭の高柳通さん、下田育雄さんのお父様、下田修次さんがいます。

以上簡単ですが自己紹介とさせていただきます。



委員会報告 ニコボックス委員会 村瀬 昌史君



会長挨拶 成瀬 浩康君



委員会報告 R情報・R研修 川瀬 治通君



出席報告 大原 泰昭君



委員会報告 親睦活動委員会 小柳出 和文君



卓話 加藤 宗生君



幹事報告 幹事 大原 泰昭君

今週のメニュー

【洋食ランチ形式】

蕪のポタージュスープ 海老オイル浮かべ

ミックスフライ 和風タルタルソース

サラダ

ご飯

デザート

コーヒー